

	近 世		
学区別	安 土 桃 山 (1568~1603)	江 戸 (1603~1868)	学区別
	織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が山科に与えた影響 (山科の禁裏御料は護持)(本願寺を東西に二分)	江戸幕府の影響(毘沙門堂、安祥寺) 社寺の復興	
山 階		1613 竹鼻村初見 1671 西念寺が竹鼻地域の惣寺 1732 舞楽寺(西御坊)創建 1736 長福寺(東御坊)創建 1832 西御坊内に「中宗堂」建立	山 階
安 朱	1596~615(一説) 安祥寺、現在地に移設	1612 安祥寺寺地が高野山に返付され寺観整備 1613 安祥寺村と朱雀村が合併して安朱村に 1643 護国寺創建(竹鼻) 1661~73 秀典寺創建(安朱) 1665 毘沙門堂、安朱に再建 1665 双林院創建(安朱) 1666 幕府、安祥寺寺地の内10万石を毘沙門堂 に譲らしめ、安祥寺には高10石を付与 1669 毘沙門堂法嗣に後西天皇第六皇子 1673 安朱村、禁裏御料より毘沙門堂領となる 1819 竹鼻村で三条街道に面する1軒の餅屋商売 通称「だんじょ餅」が明治初年まで営業	安 朱
山階南		1617 三之宮復興 1617 妙智院創建(三之宮の神宮寺) 1623 繪旨により「勅願所 三之宮」と称す 1661 松声庵(称名寺)創建	山階南
西 野	1589 豊臣秀吉、本願寺に山科の地を寄進	1703 奥田家の母屋建設(現存) 1743 西野村水利状況(川、余り水、溜池、天水)	西 野
鏡 山	1558~70 阿弥陀寺創建(御陵)	1658 華山寺復興 1689 藪下村でタバコ栽培(御陵) 1707 道標「五条別れ」建立(現存) 1716~36 梅香庵建立(日ノ岡) 1741~4 下花山村が北花山村に合併 1779 元慶寺再興(現在の場所) 1856 愛宕常夜燈建立(御陵鳥ノ向町)	鏡 山
陵ヶ岡	1596~1615 日向神社(日向大神宮)再建	1736 人馬道碑建立(日ノ岡峠) 1738 木食正禅、日ノ岡峠改修完成 1749 量救水(亀の水)設立	陵ヶ岡
音 羽	1573~82 豊臣秀吉、「挑燈町」の町名を付与	1655 十禅寺再興(明正天皇) 1703 道標「伏見六ぢぞう」建立(四ノ宮) 1750頃 「山科絵」が東海道筋で販売 1813 徳林庵の茶釜(現存) 1821 徳林庵の手水井戸(現存)	音 羽
音羽川			音羽川
大 塚	1596 安楽寺創建(小山) 1594頃 豊臣秀吉、伏見城築城のため採石(小山)	1701 分水石設置(小山民具資料館前) 1726 妙見信仰盛ん(妙見寺) 1847 法蔵寺再興	大 塚
勸 修		1730 栗栖野新開と称す 1740 朝日神社勧請(栗栖野)	勸 修
大 宅		1604 大宅一里塚建立(京都市内唯一の現存)	大 宅
百 々	1573 西浦村が川田村と改称 1596~615 山科神社、秀吉の命に背き社領没収	1660 山科神社の鳥居建立(山科最古、現存) 1700 大石良雄、山科閑居	百 々
小 野	1589 豊臣秀吉、勸修寺の禄を減らし300余石 1589 豊臣秀吉、勸修寺村内200石の知行を安堵 1598 豊臣秀吉、勸修寺八幡宮に寄付 1599 随心院本堂再建	1617 勸修寺八幡宮修造 1672 宮門跡となった勸修寺の寺観復興 1723 藤原定方墓碑建立(勸修寺) 1863 山科川(勸修寺~小栗栖)改修工事 1864 勸修寺長吏復職(山階宮晃親王)	小 野
共 通	1574 織田信長、山科七郷の諸役免除を容認 1594後 豊臣秀吉、勸修寺の宮殿、仏閣、僧坊、礎石及び 宝塔碑石塔をうがち、これを山中に移し、禅林を排 し、名池を埋め、道を関東に通ず(伏見築城時) 1601 徳川家康、山科18か村6,500石余を禁裏御料に	1711 山科各地の請酒屋48軒 1805 車石設置(日ノ岡峠~大津) 1824 山科全域を襲った干ばつで飢餓に苦しむ人多数 1861 皇女和宮、徳川家茂降下時、山科郷士供奉 1862 山科郷士の山科出張所(富小路竹屋町)	共 通

	近 代 (1)		
学区別	明 治 (1868~1912)	大 正 (1912~1926)	学区別
	山科七郷500年余りの歴史を閉じる 山科疏水の影響大	京津電車開通、東海道新線開通	
山 階	1868 明治天皇、奴茶屋休憩 1872 東野校開校(西御坊対面所) 1878 地蔵寺廃寺、華山寺に合併 1880 山階校、西野大手先町に新築移転 1887 宇治郡第一高等小学校、山階校内に併置 1898 山階尋常高等小学校と改称 1900 高坂織物工場、竹鼻に創業 1903 矢部山階校校長「宇治郡郷土唱歌」作詞 1904頃 山科村役場、大手先町16に新築移転	1921 日本絹布、西野に大工場建設 1922 鐘紡、日本絹布を買収、鐘紡山科工場に 1924 山階校同窓会、矢部文載先生紀恩碑建立 1924 四ノ宮川、山階橋架橋(醍醐街道変更)	山 階
安 朱	1872頃 護国寺の学室、寮が廃仏棄釈に遭う 1886 田中警察署安朱分署設置(安朱) 1900頃 護国寺馬場が消滅、境内に道が通る 1901 母子地蔵堂建立(安朱) 1906 安祥寺宝塔焼失 1909 道標「本願寺両別院」建立(三条街道?)現存	1912 近江銀行大津支店山科出張所開設(安朱) 1921 京津電車、毘沙門道駅廃止、山科駅前駅設置 1921 道標「本願寺両別院」上記により移転 1925 八幡銀行山科出張所開設(安朱) 1925頃 竹鼻新道造成	安 朱
山階南	1880 白河寺廃寺 1888 西雲寺門前に「表徳碑」建立	1913 木村太一郎、温室ぶどう園設立 1921頃 上村堤防(水堤防)建設(山科川封シ川大橋西) 1923 桐材下駄製造業盛ん	山階南
西 野	1869 西野村に本願寺寺内跡地の開墾許可	1922 鐘紡山科工場建設(土塁は従来のまま)	西 野
鏡 山	1879 永正寺廃寺、安朱来迎寺に合併 1891 北花山水路竣工 1903 花山洞(渋谷隧道)開通	1919頃 旧安祥寺川、新たに造成(渋谷街道以南)	鏡 山
陵ヶ岡	1875 日ノ岡峠改修工事竣工式 1886~9 疏水煉瓦工場創業 1903 日本最初の鉄筋コンクリート橋、田邊朔朗、疏水に架橋	1912 京阪電車開通し、御陵駅設置	陵ヶ岡
音 羽	1892 音羽水路竣工 1903 山科郵便局設置(四ノ宮) 1908 四ノ宮地蔵堂再建	1915 やましな飴販売	音 羽
大 塚	1874~6 小山分教場設立(山階校)	1913 神戸大津鉄道、大塚に引上線設置(跡現存)	大 塚
音羽川	1886 若宮八幡宮再建	1914 大野木織布工場創業 1918 安達初治、竹鼻立原町に別荘建設 1923~25 志賀直哉、安達別荘に住む	音羽川
勸 修	1880 柳辻が東野校区から勸修校区に変更 1881 勸修校、勸修寺内より現在地に新築移転 1892 勸修高等小学校設置 1892 柳辻村の共有山林が開墾され畑地となる 1895 坂上田村麻呂墓地(伝承)、整備される 1898 勸修尋常高等小学校と改称	1922 山科小作人組合結成	勸 修
大 宅	1903 城山菊太郎、温室ぶどう園栽培 1905 宮道弥益夫妻墓復興	1925 京都カントリー倶楽部設立(ゴルフ場) 1926 城山菊太郎、鉄骨大ぶどう園建設	大 宅
百 々	1908 福田金属、西野山に工場建設	1919 西野山古墓発見	百 々
小 野	1868頃 はねず踊りの復興を申請 1872 勸修校開校(勸修寺山階宮御殿の一部)	1912~ 山科川の川筋を変更した改修工事	小 野
共 通	1871 廃藩置県、山科七郷と皇室の関係無くなる 1872 山科郷士に移住地として東京新宿を付与 1876 政府より戊申戦争従軍功賞として、千葉県 東山科村の土地を付与(開拓地) 1879 神戸大津鉄道の京都大谷間仮運転、小野駅設置 1880 逢坂山トンネル開通、京都大津間鉄道開通 1881 千葉県東山科村の土地開拓中止、山科へ帰る 1889 山科村役場発足(山階校内に設置) 1890 琵琶湖第一疏水竣工 1909 新安祥寺川掘削、山科川下流河身付替工事 1881 山科の人口 6,108人 1,314世帯 1890 人口 7,059人 1898 山科の人口 7,458人 1908 人口 7,983人	1912 京津電車開通(三条~大津札ノ辻) 1914 山科村村営水車数50 1920 山科村の人口 10,290人 1921 国鉄東海道新線開通(現東海道本線) 旧東海道線の京都膳所間および小野駅廃止 1922 山科駅~京阪六地蔵間にバス開通 1925 山科村の人口 14,964人 1926 京都府宇治郡山科町役場発足	共 通